

新しく、便利になった 2X File Uploader による ネットワーク ファイル転送。



[サポートマネージャー Gino Dalcielo \(ジーノ・ダルキエロ\)](#) 2011 年 9 月 27 日

2X File Uploader は、2X ApplicationServer XG に導入された新しい機能です。

ユーザーが端末間でファイルを転送できるアドオンアプリケーションとして機能します。これは、簡単な公開アプリケーションとして使われるように設計されています。当初は、ターミナルサーバー間での使用として設計されましたが、2X File Uploader は、Windows 端末間でも、ファイル転送に使用できます。

2X File Uploader は、2X ApplicationServer XG をインストールする際に自動的にインストールされます。インストール場所は、同じ位置パスです。

(例: C:\Program Files (x86)\2X\ApplicationServer\2XFileUploader.exe).

2X ApplicationServer XG コンソールを起動して、“Publishing Resources”を選択します。次に“Add an Application”を選択して、その場所から File Uploader を公開します。

(例: C:\Program Files (x86)\2X\ApplicationServer\2XFileUploader.exe).

2X File Uploader の機能には、以下のものがあります。

1. 拡張子:

ユーザーは、ソース(移動元)から移動先フォルダーに転送する際に使われるファイルフォーマットを選択できます。(例: ex: “.txt”, “.doc”, “.xlsx”, 他.) また、追加した拡張子の種類の説明を挿入することができます。

2. ファイルの選定:

ユーザーは、ソースから移動先フォルダーへ転送するファイルを選択することができます。

3. ソース(移動元)フォルダー:

ユーザーは、ファイルを転送したいソースフォルダーの場所を入力することができます。
(例: C:\filestotransfer) これらの登録は、必要に応じて、追加、削除ができます。

4. 移動先フォルダー:

選択されたファイルが転送される場所です。必要に応じて、追加、削除ができます。

5. 転送:

転送ボタンで、ソースから目的地までのファイル転送を開始します。

6. ドライブマップ:

ドライブマップタブから、ユーザーは、ローカルコンピューター上のドライブマップの選択ができます。

詳細な情報につきましては、以下のリンクから、2X ApplicationServer XG の Additional Tools のマニュアルをご参照下さい。

<http://www.2x.com/docs/en/manuals/pdf/applicationserver-additional-tools.pdf>